



<第三号>

令和6年3月吉日



異動職員挨拶

2月1日付けで中伊豆リハビリテーションわかばより伊東の丘いずみに異動になりました、手塚和美です。

昨年11月に交換研修で初めていずみに来させていただきました。わかばと違う事や備品などがあってとても勉強になりました。交換研修の記憶がまだある中での異動で正直、驚きと戸惑いがありました。そんな中2月1日にいずみに初出勤をしました。私が感じた印象は利用者様は元気でとても活気がありました。数人の利用者様から声を掛けていただき、自己紹介をするとすぐに名前を覚えてもらいとてもうれしくなりました。

若い頃と違い体力、記憶力衰えは避けられませんが、いずみの利用者様の元気とパワーを分けてもらい、職員の方々のお力を借りて、1日も早くいずみの一員として利用者様に寄り添っていけたらいいなと思います。

これからよろしくお願ひします。



<能登半島の災害支援について>

今回、1月末の大雪の中、障害者支援施設穴水ライフサポートセンターに災害支援に入って、施設の状況を自分の目で見て、職員・利用者の生の声を聞いたことは、ショックであったとともに本当にこれが現実なんだと痛感させられました。伊東の丘の防災委員として支援に行く前までに描いていたBCPのシナリオやプランに対して、リスクアセスメントの甘さを思い知らされました。

ここで経験したこと、感じたことを今後のBCP、防災対策、準備等に生かしていきたいと考えています。

また、できることならば、期間を置きながら何度でも支援に入らせていただき、穴水の施設がサービス、事業の復旧をどのように進めていくのか、私自身も支援させていただきながら一緒に考えていきたいと思いました。本当にありがとうございました。



<イベント報告>



<福笑い>



1月17日に巨大福笑いの行事を行いました。声援を送る中、皆で協力しておかめとひよつとこを完成させました。

職員は完成したおかめとひよつこの真似をして写真も撮り盛り上がりしました。



<バレンタイン>

2月21日に各階バレンタイン行事を行いました。チョコの詰め合わせを紐くじにて引いてもらいました。チョコが食べられない方にはプリンを提供しました。くじを引く楽しさやチョコを食べれて満足した様子でした。



<クレープ屋さん>



クレープの移動販売LinoLinoさんに来ていただき、利用者様が食べやすいように四角に作り、フルーツティーと一緒に提供しました。皆さん凄い勢いで美味しそうに食べ満足されていました。



<編集後記>

本年度広報係を担当させて頂き、ありがとうございました。初めてで不慣れな点もありましたが、いずみでの利用者様の生活状況等を届けることができよかったです。来年度も充実した広報誌を届けられるよう他職員とも協力していきたいと思ひます。



担当：望月・佐藤

